

令和6年2月9日
仙台管区気象台

仙台管区気象台における目視観測通報を自動化します

これまで仙台管区気象台では、気温、風、降水量、日照などを自動で観測するとともに、職員が目視により晴れや曇り、雨、雪、霧などの天気や大気現象及び視程（見通しのきく距離）を観測してきました。

近年、気象レーダーや気象衛星観測等を活用した総合的な大気の把握が可能となる等の技術の進展を踏まえ、仙台管区気象台において、目視観測を自動化します。

1 変更予定日

令和6年3月26日

2 変更点等

別紙のとおり

本件に関する問い合わせ先
仙台管区気象台観測整備課 毛利
電話番号 022-297-8106

目視観測通報の自動化について

これまで仙台管区気象台では、気温、風、降水量、日照などを自動で観測するとともに、職員が目視により晴れや曇り、雨、雪、霧などの天気や大気現象及び視程（見通しのきく距離）を観測してきました。

近年、気象レーダーや気象衛星観測等を活用した総合的な大気の把握が可能となる等の技術の進展を踏まえ、令和6年3月26日（予定）から仙台管区気象台において、目視観測を自動化します。

■ 自動観測に移行する観測種目

- ✓ 以下赤枠内の大気現象については、職員による目視観測から自動観測に変わります。
- ✓ 視程（見通しのきく距離）も、新たに設置する視程計を用いた自動観測に変わります。
- ✓ 雷は、これまで職員が目視や聴音により観測していましたが、雷監視システム（LIDEN）と気象レーダーのデータを用いた自動観測に変わります。

〈今後、自動で観測する天気や大気現象〉

晴, 曇, 雨, 雪, みぞれ, 霧, もや, 煙霧, 雷

■ 目視観測通報の自動化に伴い観測を終了するもの

➤ 天気

快晴、薄曇

➤ 大気現象

現象の分類	目視観測通報の自動化に伴い観測を終了する大気現象
大気水象	雪あられ, 氷あられ, ひょう, 細氷, 凍雨, 霧雪, 着氷性の雨, ふぶき, しぶき, 霜 (注1), 結氷 (注1), 竜巻, 積雪 (注2), 冠雪 (注1) 注1: 寒候年(前年8月~当年7月)に初めて観測する 霜 , 結氷 , 冠雪 は従来どおり 初霜 , 初氷 , 初冠雪 として記録します。 注2: 「積雪の深さ」は機械で測ります。
大気じん象	黄砂, 煙, 降灰, 風じん, 砂じん嵐, じん旋風
大気光象	かさ, 光冠, 彩雲, にじ
大気電氣象	電光, 雷鳴

➤ 雲

雲量、雲形